



下 諏訪 ぎがし

Vol.51

2026
2月臨時会
3月定例会

特集 2～3P

R8 年度
予算審査報告

～「わっこ」と「ぽけっと」に議論集中～

特集 13～15P

- ★モニターアンケート
- ★各委員会 活動報告
- ★各種懇談会

子育て・多世代交流施設「わっこ」整備事業1億4,668万円、管理運営1,668万円
子育てふれあいセンター「ぼけっと」運営641万円

附帯決議を賛成多数で可決

附帯決議の内容は以下の通りです。

この計画は町民の意見の反映や説明が不十分で、理解は得られていません。子育て・多世代交流施設の整備は町民から切実に求められていますが、十分な理解や協力を得て、行政がともに同じ方向を向き、取り組んでいくことが必要。以下の3項目を町に求めます。

- 1.「わっこ」の整備事業にあたっては、町民等の声に耳を傾け意見の反映に努めるとともに、十分な情報公開と説明を行い、理解を得ること。
- 2.現在の場所での「ぼけっと」の機能継続を含め、新年度に始まる新たな検討会には、昨年4回にわたり開催された「子育て施設検討会議」委員を含めること。
- 3.進捗状況を適宜、議会に報告すること。

反対討論 予算に反対する内容で、実質的な修正動議とも捉えられる。代案の提案もなく、不誠実である。

賛成討論 より多くの町民意見・要望を反映した施設であってほしい。丁寧な説明も必要。

 豆知識 附帯決議ってなに？

議会で議案を可決した後に、その施行に関して意見や要望、留意点などを表明するものです。法的な拘束力は持ちません。

秋にオープンするイオンスタイル諏訪内に約100坪の広さの「子育て・交流テラスわっこ」を整備し、乳幼児と保護者が安心して安全に過ごせる場、小中学生や高校生、一般の方が気軽に憩える場となるよう運営開始が予定されています。

整備には、内装工事に1億3,843万円、工事監理費143万円、テーブルや椅子等家具682万円。管理運営費には、施設借り上げ料月130万円の6ヶ月分が含まれます。



一方、子育てふれあいセンター「ぼけっと」は年度初めから半年は現行どおり運営されたのち、その機能が完全に「わっこ」に移行される予定です。

「ぼけっと」のその後については、年度初めに検討委員会が立ち上げられ、夏頃を目途に方向づけされる予定です。

小学校給食費負担軽減事業 3,946万円

国・県からの補助金(5,200円×11ヶ月×小学生690人分)を活用し、保護者の経済的負担を軽減し、安定的な給食を提供します。当町の小学校給食は一食340円。国・県の支援との差額分年間10,800円を保護者に負担していただくこととなりますが、これまでの6万円を超える保護者負担から大幅な軽減になります。

中学校給食食材費等高騰対策 286万円

中学1・2年生の給食費について、R7年度の補助額に今年度の値上り分一食20円を増額補助。

中学3年生給食費無償化 952万円

進学等を控え、保護者の経済的負担が大きくなることから、R7年度に続き給食費の無償化を実施。



移住交流総合拠点施設整備 9,577万円

国の登録有形文化財に登録された旧矢崎商店について、R9年度の供用開始を目指し、宿泊機能を備えた移住定住の総合拠点施設に向けた改修工事が行われます。今後プロポーザルで、運営事業者を募集するとともに、宿泊予約等に対応するためのホームページの整備が予定されています。

歴史文化活用地域賑わい事業 450万円

旧矢崎商店の稼働を見据えて、町の歴史ある建造物や、町独自の文化を積極的に活用し、移住者に結びつくよう、歴史文化を活かした地域賑わい事業が民間事業者と共実施されます。



3月定例会に提案されたR8年度一般会計予算案は、3年連続で90億円を超えるものでした。総合文化センターの大規模改修工事の終了に伴い前年度比で8・5%減ですが、物価高騰や人件費増の影響、子育て・多世代交流施設整備や旧矢崎商店改修工事などの大型事業が計上された結果です。宮坂徹町長は、事業の緊急性と優先度を見極めた上で公約を着実に進め、町の将来につなげる「公約推進・未来創造予算」と表現しました。

歳入では、町税を前年度と同程度の25億3000万円と見込んだほか、地方交付税は24億円、国庫支出金9億9500万円、県支出金は4億6300万円、基金からの繰入れ総額は5億3854万円、町債は前年度比61・5%の大幅減の4億7180万円。

歳出では、新規事業52件、拡充事業32件および継続事業は44件。いくつかの新規事業を以下に紹介します。

新規事業への期待、十分な町民への情報提供や町民を巻き込んだ議論への要望、安心安全な町民生活のための環境整備や支援策実施要望などを含めた討論があり、全会一致で可決しました。

一般会計予算決算審査特別委員会



総合文化センター改修工事完了に伴う記念事業等 1,042万円

2年間にわたる改修の完了に伴い、リニューアルオープン記念として、当町出身の指揮者柳澤寿男さん指揮によるコンサートのほか各種コンサート等を開催。

新電力導入事業 211万円

庁舎等の高圧電力を新電力に切り替えることにより、ゼロカーボンを推進します。



こども誰でも通園事業 472万円

3歳未満の子どもの成育環境を整備するとともに、多様な働き方やライフスタイルに伴う子育て家庭に対する支援を強化します。



総合ハザードマップ作成 680万円

R1年に作成したマップを最新の状況へ更新し、いざという時に使いやすい内容となるよう充実を図ります。



RS ウイルスワクチン接種 237万円

妊婦へ接種することで胎児への免疫付与ができるワクチンの定期接種について、予防接種法に基づいた接種体制を整えます。



諏訪湖博物館屋根等防水改修工事 2,564万円

雨漏りによる支障改善のため、屋根等の防水工事を行い、多くの来館者を迎える環境を整えます。

第4分団小型動力ポンプ付積載車更新 2,695万円

レスキューボート購入 56万円
第2分団屯所外壁等修繕 332万円

消防団の防災力強化を図り、町民生活の安心・安全を確保します。



議員が注目の議案！

28議案を審議
全議案を原案通り可決



詳しくは
議会HPへ

「総合政策課」を新設、 「税務会計課」を「財務会計課」に統合

新年度の機構改革により、改革や施策の目的が一貫され、政策の実効性の向上が図られます。国交付金等への対応をはじめ、庁内の情報共有による各課横断的な業務にスピード感を持った対応の強化が期待されます。

「総合政策課」を新設。課内に「企画創生係」「地域戦略係」を新設し、総務課「デジタル推進室」を移管。税務課と会計課を統合し、「財務会計課」を新設。合理的な統合であり、戦略的且つ機動的な対応が期待されます。

また、教育こども課内に、国民スポーツ大会の開催準備を担当する「国スポ推進室」が新設されます。



総合政策課を新設

R8年度下水道事業会計予算 ウォーターPPPを視野に

ウォーターPPPについては、R7年度には希望企業に説明会を開催し10数社の参加がありました。R8年度上半期に民間企業へ町としての案を示し対面による意識調査を行い導入を検討し、下半期で事業化に向けて次のステップに進む計画です。

「まめ知識」
ウォーターPPPってなに？
水道・下水道事業において、民間のノウハウを活用し、施設の維持管理と更新（改築）を長期かつ一体的に行う官民連携方式です。これまでに個別に発注していた業務を一体化して発注することで、職員減少や施設の老朽化に対応し、事業の持続可能性を高めるため国が推進しています。

水道料金見直しも審議予定

R8年度は、老朽化した配水管の布設替えを含め、各種工事数が増加する見込みのため、借入金額をこれまでよりも増額して計上。
R7年度に見直した投資資産運用と、新たに策定した水道施設更新計画に基づき、効率的かつ安定した事業経営が目指されます。また、適正な水道料金について、上下水道審議会で審議される予定です。

下諏訪町商工業振興条例の一部改正

商店街の空き店舗等を活用し新たな起業を行う際に支援を行うのが、

「チャレンジ起業支援事業」です。これまで商工業振興条例の補助事業として定められていましたが、条例から削除し、独立した「下諏訪町チャレンジ起業支援事業補助金交付要綱」として整備されることになりました。国庫補助制度の活用を見据えるとともに、町外事業者、2件目以降の店舗も対象に加えること等の補助内容の見直しも行い、地域活性化につなげていく町の意向です。

「子ども・子育て支援納付金」 によって国保税率改定

R8年4月から「子ども・子育て支援金制度」が創設されることに伴い、国保税率を改正し、子ども・子育て支援納付金を県に納付し、国保税に支援金を上乗せするため平均2・49%引き上げの税率改定が行われます。

子育て支援は公費で行われるべき。物価高騰が続く中、増税は反対。子育て支援拡充と若い世代の所得向上のため賛成との討論があり、賛成多数で可決しました。

精神障がい者1級・2級の入院費が福祉医療費の対象に

福祉医療費給付金条例の一部改正により、県の福祉医療費給付事業の対象拡大に伴い、精神障がい者保健福祉手帳1級・2級の所持者はこれまで外来医療費のみ助成されていましたが、入院費も福祉医療費の対象となります。

勤労青少年ホームを下諏訪町 公民館へ統合

両施設を統合し下諏訪町公民館の名称で施設運営されます。勤労青少年ホームは、公民館と同じ位置付けで講座等を行っており、「学びの場」として施設の集約化や別々に行っていた予算執行と事務事業の効率化を図ることが目的です。

特別養護老人ホーム事業

特別養護老人ホーム事業特別会計予算では、一般会計からの繰入金が増えています。施設が老朽化し修繕費も増えている状況です。
ハイム天白は、自治体が設置し運営している県内唯一の特別養護老人



下諏訪向陽高校

ホームです。限られた予算の中で、地域のセーフティネットとして職員のみなさんに入所者の立場に立って、素晴らしい介護を実践していただいています。

下諏訪向陽高校の魅力向上へ 町が支援

下諏訪向陽高校が実施する、高等学校の魅力を高め入学志願者数を増やす取り組みが、「こども未来基金活用事業」の支援メニューに追加されます。R8年度から放課後の英語塾と特別講師による授業などが行われます。また、進学希望者だけでなく、就職を希望する生徒には、地元企業と連携し、ものづくり産業の重要性や地元就職のメリットを伝えていく予定です。

2月臨時会 町民生活を支える補正予算を審議 令和7年度下諏訪町一般会計補正予算

令和8年2月に臨時会が開かれ、一般会計補正予算3件を審議

【物価高騰対応子育て応援手当】

物価高騰の影響を受ける子育て世帯の家計負担を軽減するために、物価高対応子育て応援手当（0才から高校3年生までの児童1人につき2万円）を支給する経費4935万円が追加されました。内訳は給付費4740万円、事務費195万円です。早急に支援を行う必要があることから専決処分とされ、承認しました。

【衆議院議員総選挙を執行するための経費】

衆議院議員総選挙の執行に伴い、投票所の設営や入場券の発送、開票事務などに必要な経費として1144万円が追加されました。財源は全額国からです。選挙を適正かつ円滑に実施するための補正が専決処分され、承認しました。



プレミアム付商品券

【プレミアム付商品券発行・支給事業、住民税非課税世帯に対しエアコン設置促進事業】
物価高騰対策として、プレミアム付商品券発行事業1億305万円、生活応援プレミアム付商品券支給事業2240万円を計上し、地域経済の活性化と家計支援が図られます。また、住民税非課税世帯の熱中症対策として、エアコン設置促進支援事業862万円が追加されました。こちらは、R7年度予算ですが、R8年度に繰り越され、申請期間は、R8年4月1日からR8年11月30日までとなります。予算決算審査特別委員会で審査を行い可決しました。

一般質問12人の視点

「歩いて・見て・聴いた」こと「議員自身の提言」も交えて、町に考えを質す！
3月定例会でも、あらゆる町の課題に、議員一人一人の目線で、執行部と真剣な議論を展開。
今後の町の動向にも注目！

- P13 フレイル
- P12 移住者定着
- P12 改修計画
- P11 林野火災
- P11 地域の発展
- P10 財源確保へ
- P10 事業評価
- P9 バスの購入
- P9 国保税軽減
- P8 産前支援
- P8 スマホ役場
- P7 保護者負担



各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。
スマートフォン等からアクセスして、ぜひご覧ください。
全質問項目は、下諏訪町ホームページから見るすることができます。

下諏訪町議会
議会中継
チャンネル



一般質問

問 小学校給食費について、来年度児童1人あたり月額5200円分を国と県が半分ずつ補助するが、当町では実費との差額分を保護者負担にする「負担軽減」に留まるのは、なぜか。

町長 国・県から全国平均に基づき補助がくるが、当町における不足分年間1万8000円を保護者に負担していただく。これまでの6万円を超える負担に比べ、大幅な軽減になる。今年度と同様、中学3年生は全額無償とし、中学1・2年生については値上げ分を町が補助する。

問 今後、小中全学年の給食費無償化に向かう考えはないのか。

町長 今後は国からの情報にアンテナ高くして、検討する。

問 食物アレルギーや宗教上などの事情によるお弁当の持参や、長期欠席・不登校など、給食が食べ

保護者負担

かない けいこ
金井 敬子

学校給食無償化への考えは

答弁
総合的に鑑み一定額は保護者負担

られないケースへの対応は、教育子ども課長 議論できていない。保護者の意見を聞いていく。

学童クラブ支援員配置

問 学童クラブへの地域おこし協力隊員2人の採用に伴う、支援員配置に変化は。

答 教育子ども課長 隊員には代表支援員を兼務いただく。引き継ぎも含め、現在の代表支援員の方には、支援員として残っていただく。



全国に広がる給食費完全無償化

「第8次下諏訪町総合計画基本構想」を全会一致で可決

基本構想審査特別委員会



基本構想に沿い開始される各種計画
昨年12月定例会で付託された「第8次下諏訪町総合計画基本構想」の審議のため、議長を除く12人の議員で構成する下諏訪町基本構想審査特別委員会(金井敬子委員長、豊島健之副委員長)を計5回開催。関連資料の説明を受けた後に、委員から計24項目の質疑・意見を町に提出。それに基づく質疑・議論を繰り返した結果、「前期基本計画」内で3箇所の文言を追加しました。

最終日には下記の討論が行われ、採決の結果、全会一致で可決しました。

- あらゆる分野の計画の基本であり、住民や事業者、行政が行動するための基本的な「道しるべ」となる。基礎となるのは人口動態であり、人口の流入を招き流失を食い止めていくのが、今後の大きな課題。
- 基本構想に示される「自然環境・生活基盤」「教育環境・文化振興」「健康づくり・福祉の推進」「産業振興・人材活躍」「安全・相互理解・連携」の5つの大綱が簡潔に、大変わかりやすくまとめられている。
- 少子高齢化に即した計画であると同時に、町の独自性が示された内容と判断。ブレることなく、計画推進にあたってほしい。

※総合計画や委員会設置については、前号12～13Pに掲載



意見書案の審査結果

<防衛装備移転三原則の堅持と慎重な運用を求める意見書> 賛成多数で可決

政府は防衛装備移転三原則の運用指針見直しに関する与党提言を踏まえ、運用指針を改定する方針です。輸出できる国産装備品の「救難、輸送、警戒、監視、掃海」の5類型限定を撤廃しようというもので、国の安全保障政策の大転換につながりかねません。

この意見書は、政府に対し、憲法の平和主義を根底に据え、防衛装備移転三原則の堅持ならびに運用にあたっての厳格な審査、透明性の確保、国会・国民への丁寧な説明を求める内容です。野沢弘子議員から提案されました。

反対 既に、運用指針は改正済み。武器に関しては国連憲章に基づく歯止めがあるし、同盟国や同志国への武器輸出は我が国の安全保障環境にとって必要。

賛成 戦地でいつも最初に犠牲になるのは子ども達。憲法九条は、戦争を放棄するとうたっており、これに則り武器輸出は制限すべき。

3月定例会 議案等賛否一覽

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案名等	議員名(議席順)	中山透	林吉広	野沢弘子	竹元完奈	高橋幸二	林元夫	樽川信仁	大橋和子	花岡進	金井敬子	青木利子	豊島健之	松井節夫
国民健康保険税条例の一部改正	議決等結果	可決	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×
令和8年度国民健康保険特別会計予算	議決等結果	可決	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×
防衛装備移転三原則の堅持と慎重な運用を求める意見書	議決等結果	可決	斜線	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○
令和8年度下諏訪町一般会計予算に対する附帯決議	議決等結果	可決	斜線	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○

賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。
なお、下諏訪町議会は会派制をとっていないため、氏名は議席順に掲載しています。



はやし よしひろ
林 吉広

オンライン手 続きの進捗は

答弁 国の推進計画に
基づき整備中



たけもと かな
竹元 完奈

産前産後ヘル パー導入は

答弁 孤立のないよう
課題を研究する

問 オンライン窓口、スマホ役場の導入の考えはあるか。

総務課長 来庁が難しい方に合わせた行政サービスは重要であると認識している。しもすわインフォにおいてプッシュ型の申請手続きや、情報発信等も各種行っている。役場に来庁いただかなくても必要な情報にアクセスできる環境を整備し、住民の利便性向上に努めている。フロントヤード改革検討部会に参加し検討を進めている。

問 窓口業務の負担軽減の促進、業務の効率化についての考えは。

町長 限られた人員で、最大のサービスを提供していく仕組みは重要である。窓口業務の時間短縮は、住民サービスの質の向上を図りながら業務の効率化、職員の疲弊防止を実現するための取り組みであると考える。今後は町の実情にあわせて構築を進めていく。

持続可能な保護者活動とは

問 PTA活動休止の問題点は。教育長 PTA活動の継続性については、保護者負担を軽減していく方向性が必要。今後は何をPTAが担うべきなのかを考え、業務の減少を検討していく。PTAは独自の組織ではあるが、町として寄り添った対応をしていきたい。



いつでもどこでもオンライン窓口

問 重度のつわりや切迫早産など日常生活に支障をきたす妊婦が置かれる状況について町の認識は。

保健福祉課長 保健師が全ての妊婦に面談して相談の中で把握する。問 絶対安静が必要であっても、家事や育児を止めることが難しい妊婦への家事・育児支援の考えは。教育長 児童家庭相談員に繋げて状況を把握する。一時預かりの「ファミリーサポート制度」など、希望に合わせて体制強化をしていく。

いずみ湖公園魅力化

問 いずみ湖公園の今後の活用は。町長 供用開始から30年経過し、施設も老朽化してきている。特有の自然環境を活かす中で、大規模改修は難しいが、現在研究中。問 魅力化に向けた進捗状況は。



みんなに愛されるいずみ湖公園に

産前産後ヘル パー導入は

答弁 孤立のないよう
課題を研究する

建設水道課長 R3～7年度にかけてアウトドア施設の視察や町民、利用者、民間業者にアンケートを実施。自然環境やカヌー等の満足度は高いが、周知不足や交通アクセス、施設整備等の課題がある。

問 集落支援員制度を活用した企画運営で魅力化していく考えは。町長 地域の実情に明るい人を活用し継続的にしていくことが重要。集落でない地域で活用できるか調査研究していく。今後の研究の中で様々な制度、人材を活用していく。



はなおか すすむ
花岡 進

子ども子育て 支援金負担

答弁 繰越金活用で当初
予定より下げた



たらかわ のぶひと
樽川 信仁

マイクロバス 購入について

答弁 購入せず、都度
レンタルとする

問 今後の国保税率改定の見通しは。

住民環境課長 県内保険料平準化とその先の完全統一のため、今後10年程度は税率改定が続く。加えてR8～10年度にかけ子ども・子育て支援金も引き上げられる。

問 医療保険に子育て支援金を上乗せする合理的な理由はない。支援金を町が負担し負担増の抑制を。

町長 子ども・子育て政策の安定的財源確保のために国が決めた全世代で支え合う制度。町は負担軽減のために努力した。

下諏訪向陽高校の存続

問 「下諏訪向陽高等学校魅力向上支援」の内容は。

教育長 R8年度から放課後向陽塾と特別授業講師謝礼への財政支援を行なう。

問 県に存続を強く求める考えは。



地域でかけがえのない下諏訪向陽高校

教育長 県の高校再編基準の変更と適用時期延長を求めらる。

町長 引き続き町の総力を上げて向陽高校への支援を行なっていく。

部活動地域展開の課題

問 先行する3つの部活動から見える課題は。

教育長 指導者確保のため保護者負担、練習場所の施設利用料、移動手段、トラブル時の責任の所在等は今後の検討課題。



たらかわ のぶひと
樽川 信仁

マイクロバス 購入について

答弁 購入せず、都度
レンタルとする

問 マイクロバスと中型バスの検証で中型バスにした考え方は。

総務課長 マイクロバスの定員オーバーが多いので中型バスとした。

問 リビルト部品での修理はできないか。

総務課長 生産が終了し、部品入手ができない。交換も難しい。

国道142号の安全は

問 事故要因の把握、分析は。建設水道課長 長い下り坂の終盤で加速しやすい。ブレーキが過熱し効が悪くなり減速できなかった可能性がある。

問 県に要望したが対応は。

建設水道課長 危険表示看板45枚、カーブに25基のクッションボードなど設置していただいた。

問 町としての対策は。建設水道課長 警察などと連携して、啓発活動をしていく。



142号線事故現場

観光・地域づくりは

問 観光振興局での昨年実績は。産業振興課長 旅行企画により31プログラム428人、2260万円の収益があった。

問 R8年度の取り組み方針は。産業振興課長 着地型商品の提案。今昔館は技術の伝承を入れる。

問 朝ドラへの準備は。産業振興課長 諏訪フィルムコミッションが主体。町は協力していく。

事業評価



はやし もと お 林 元夫

問 R6年度実施された180事業のうち、達成度C、D評価かつ総合評価において手法改善、拡充などとされた事業は36事業。またR5年度でも達成度C、D評価とされた事業は19事業。そのうちの16事業についてどう見直して、政策転換を図るのか。

答 「おでかけ町長室事業」は。総務課長 申し込みがなかった。周知に努め、利用促進を図る。

問 ふるさと納税については。総務課長 ふるさと納税はR7年度から始めた「現地決済型」導入により増加傾向。体験型・クーポン型を検討する中で、中間事業者導入により商品開発などを進め、歳入確保の柱としたい。

ハイム天白へ 繰入金が増加 出来る限り存続 させる

答 町長 有効であるが、現在の財政では基金積立は難しい。県下唯一の公設公営の施設でセーフティネットの役割も。出来る限り存続させる。

問 消防団員の福祉向上を図り、参加したくなる消防団を目指さなければいけない。施策は。消防課長 ライフスタイルの多様化に対応した機能別消防団員制度の活用や、女性が活動しやすい環境整備にも取り組んでいる。



繰入金増加の「ハイム天白」

財源確保へ



のざわ ひろ こ 野沢 弘子

問 寄附額向上への取り組みは。総務課長 中間事業者への一部業務委託で新たな返礼品を開拓し、更なる寄附額の獲得に努める。

問 企業版ふるさと納税の展望は。町長 町に縁のある経営者に協力を得られるよう、可能な限りトツプセールスにも注力していく。

問 学校給食費の負担軽減。小学校給食費を月額5200円まで国が支援するが、不登校や重度のアレルギー等により給食を利用しない児童に対し、公平性の観点から国の支援相当額を現金給付出来ないか。教育こども課長 国の動向など今後の見通しを注視しながら持続可能な支援を模索したい。



リチウムイオン電池の発火事故防止

ふるさと納税 は重要な施策 財源獲得に力を 入れる方針

答 保健福祉課長 町ホームページの掲載方法を工夫する。

問 児童生徒への補聴器の装用を理由としたじめの未然防止策は。教育長 人権教育やアンケート調査で早期発見し対応する。

問 発火事故を防ぐ分別収集体制。町長 ゴミ出しガイドブックの分別表記、具体例の提示など分かりやすさの向上に努めたい。

地域の発展



とよしま たけゆき 豊島 健之

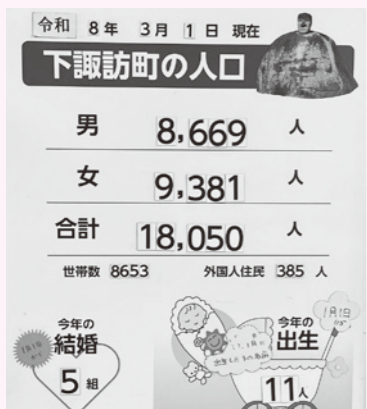
問 町将来人口を維持するには、いかなる要素に対して、どのような策を講ずるべきか。

答 総務課長 将来人口の設定に当たっては、人口総数の増減要因となる自然増減と社会増減について総合的な判断が必要。自然増減は、出生率が改善しても、その効果が人口全体に反映されるまでには時間を要する。対して社会増減は、施策の効果が比較的短期的に現れやすい要素である。よって出生率については現実的かつ段階的な改善を見込み、社会移動については施策の努力により一定の改善を図るという想定でいる。具体的には、移住定住施策・子育て世帯への支援、産業振興による雇用の確保等により、転出の抑制や転入の促進を図る。これらは人口構造の改善、とりわけ将来の労働力人口や出生数の基盤確保に直結するものである。

町将来人口を 維持するには 町施策を住民一丸 となつて講ずる

答 町長 町が進むべき方向を示すビジョンや理想を掲げることは必要。指摘の通り、数値はある意味理想的な部分もあるが、しっかりとした人口ビジョンを分析し、エビデンスをとって掲げているものもある。第8次総合計画、第3次未来を創る総合戦略に沿った様々な事業を展開し、住民と一丸となつて将来人口の維持に對峙したいと思う。

問 出生率や純社会移動率等、町の想定値は、希望的観測ではないか。町長 町が進むべき方向を示すビジョンや理想を掲げることは必要。指摘の通り、数値はある意味理想的な部分もあるが、しっかりとした人口ビジョンを分析し、エビデンスをとって掲げているものもある。第8次総合計画、第3次未来を創る総合戦略に沿った様々な事業を展開し、住民と一丸となつて将来人口の維持に對峙したいと思う。



結婚5組出生11人と状況は深刻

林野火災



まつい せつ お 松井 節夫

問 林野火災への対応に、大型チェンソーが必要ではないか。消防課長 各分団に計9台配備。大型は無いが現装備で十分。

問 向陽坂に防犯灯を増設できないか。または、ソーラー照明灯を。消防課長 増設要望には対応する。ソーラー照明灯は研究課題。

問 下屋敷の国道142号法面の灌木除去は。建設水道課長 R6年6区区长・町内会長からも要望あり。県に要望したが、現状では問題ないとのこと。引き続き現状把握に努める。

問 下屋敷では142号法面からの落ち葉が多い。これは誰が片付けるべきか。住民環境課長 原則、県の対応となるが、範囲が広く全ては困難。地域住民に協力してもらおう場合、ゴミ袋は支給する。

ジェットシュー ターの数は 計93台

答 消防本部と分団に

問 危険木除去の実績は。補助金制度を検討したか。産業振興課長 3件相談があり所有者にて対応済み。補助金は難しいが、県の森林税の活用を考える。向陽坂で来年度予防的伐採予算化。

問 八島高原トイレについて。簡易トイレ設置はできないか。産業振興課長 凍結、清掃、防犯など課題もある。必要性があるか検討する。



チェンソー使用訓練をする団員



あおき としこ 青木 利子

新年度予算案について
旧矢崎商店改修
実施計画の詳細

問 新年度予算案に予定されている国登録有形文化財の旧矢崎商店改修工事の詳細は。

産業振興課長 耐震化のための基礎部分の固定化、耐力壁への付け替え、耐震金物の設置、瓦の軽量化などを行う。1階に受付、相談室、事務室、来客用のトイレ等を整備。

生成AIの活用

問 商工会議所で生成AI(人工知能)の活用講座等も実施されているが、庁舎内外での活用にどのような期待をしているか。また、生成AI活用のための町職員に向けた伴走型支援をどう取り入れているのか。



改修予定の旧矢崎商店

「わっこ」来所手段は
問 イオンスタイル諏訪内に設置する子育て・交流テラス「わっこ」。利用する際、北小・社中エリア等の遠方子どもたちの移動手段をどう考えるか。



たかはし こうじ 高橋 幸二

移住者定着の
支援策は

問 住み続けたい町であるための将来ビジョンは。

町長 R4年度実施した満足度調査では、88%の方が住み続けたいと回答。町の魅力向上に努めていく。

通過型から滞在型へ

問 まちなか回遊性と商店街活性化の連携について今後の方向性は。

産業振興課長 99分マップ看板で散策を促す。周遊チケットを販売。今後も新しい商品開発をしていく。

問 宿泊につながる観光資源の磨き上げと今後の方向性は。

産業振興課長 観光振興局による下諏訪らしい体験プログラムの旅行商品を開発。今後も宿泊しにくいと体験できない商品を提案し、人生を豊かにしてもらいたい。

カスハラ対策について

問 クレームとカスハラの違いを



ストップカスハラ

明文化したガイドラインや簡易マニュアル作成の考えは。
総務課長 新入職員や若手職員が線引きに迷うこともあると思う。前向きに取り組んでいく。
問 庁舎内にクレームとカスハラの違いが分かる掲示物を掲示してほしいが、その考えは。
総務課長 組織的に対応することは重要。事業者の義務として対応が必要であるため、R8年度中に指針を整備し運用方法を検討する。

答弁 移住後に交流会を実施している。



おおし かずこ 大橋 和子

健康長寿でいる
為には
本人の気持ち大切に
支援していく

フレイル

問 要介護にならない対策は。保健福祉課長 栄養・運動を中心にフレイル予防講座を実施している。保健指導委員会の健康学習会、シニア運動塾、みずべフィットネスなどでフレイル予防の要素を取り入れた事業を推進している。

町長 フレイル予防は健康長寿の為、バランスの良い食事による栄養が必要であり、自事として取り組める環境づくりも必要。シニアの脳トレの助けにもなるeスポーツ教室を推進する予定。

イオンと地元商店の発展

問 イオンと地元商店が共に発展する為の施策は。

町長 共存共栄の関係を築くことで地域全体の活性化につなげていきたい。共同で開催するイベントなどを通して地域の活性化を図ることも一つの施策として考えていく。



食事と運動でフレイル予防を

産業振興課長 イオン内にテナントとして新規に出店する個々の店舗に対する補助は考えていないが、融資斡旋や商工会議所の経営相談などを通してサポートしていく。

問 子育て・多世代交流施設「わっこ」における掲示板の設置の予定は。
教育こども課長 利用者が情報交換できる掲示板の設置を予定している。保護者どうしが集い、交流する場として「わっこ」が活用されることを望む。

議会だよりモニターのみなさんより

12名のモニターさんに下諏訪町議会だより50号の感想を聞きました。一部を掲載します。

Q 「下諏訪議会」を「下諏訪ぎかい」にしたのはなぜ？

A 視察先の先進自治体の議会だよりも参考に、デザイン性のバランスの観点と、町民により親しみやすい柔らかな議会だよりのイメージにしたいという理由から、vol.44から紙面のリニューアルを行いました！

一般質問は良く考えられているが、文が短くてわかりづらい。もっとページを増やしたら？

議会だよりを読まない、議員がどんな取り組みをしているかわからない。

「豆知識」、言葉の解説が役に立った！

専門的な用語がわかりにくい。

モニターの皆さんありがとうございました。ご意見を参考に、編集に取り組みます。



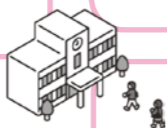
下諏訪向陽高校生と下諏訪町議会の懇談会



私たち議員は、下諏訪向陽高校生のみなさんの声をお聞きして一緒に考えていこうと、毎年懇談会を開催しています。今年度は、令和7年12月23日に向陽高校で行いました。ざっくばらんに日頃感じていることを話せるよう小グループに分かれて話し合い、たくさんの意見・要望を出していただきました。今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。

自慢したい向陽高校の魅力

「バスや電車の本数を増やしてほしい」「道路がガタガタ。整備してほしい」「部活終わりの下校時は暗いため街灯を増やしてほしい」「1年生のフロアにトイレ設置を」「部活するのに校庭に照明がほしい」「土砂崩れを早急に改修して欲しい」「道端に大きい木が生い茂り危険」「町の奨学金制度の充実。向陽サポーター制度の導入を」「進路別コースになったが変更の難しさがあるので進路の範囲を広げてほしい」「秋宮から校舎までトイレがない。涼む場所もほしい」「駅前などのパトロールを」



行政や学校に望むこと

「下諏訪駅2階を勉強や友人との会話する場所に使わせてほしい」「イオンスタイルの中に何が設置されるのか。勉強用の椅子と机を設置してほしい」「商店に『学生歓迎』の表示があれば入りやすい」「悩みを相談する場所、カラオケ店やご飯屋さん、ゲームセンターやガチャガチャの店がほしい」「駅前防災公園をアクティブな空間に（例えばスケートボード）」「レトロなカフェなど下諏訪らしい場所があれば高校生が集まる」「すわっちゃオのような場所がほしい」

居場所づくり

「地域で優しく挨拶をしてくれる方が多い」「向陽生はとても明るくて元気。生徒同士の関わりが楽しい」「制服・ブレザーが素敵」「下諏訪町が好き。住みやすいし雰囲気がいい」「学校も勉強も楽しい」「生徒会役員は自分から手を挙げてやっている」「向陽坂から見える景色がめっちゃ綺麗」「向陽祭はお客さんも自分たちも楽しめる」「行事や企画と日常のメリハリがある」「地域との関わりが深い（入学祝いの横断幕・イルミネーションの飾りつけ）」「生徒と先生との関係がとても良い」

やってみたいこと

「向陽祭でもっと町議会と協力してやってみたい」「地域の人たちと協力しあって盛り上げたい」「ダンスやバンドで産業まつりなどのイベントに参加したい」「地域にTシャツなどのグッズを広めたい」



諏訪地区保護司会下諏訪分区と下諏訪町議会の懇談会

更生保護の現状を共有し、議会活動に活かしていくことを目的に、諏訪地区保護司会下諏訪分区との懇談会を令和8年1月26日に開催しました。

懇談に先立って、下諏訪町交番小山卓也所長から最近の犯罪の状況について説明していただきました。議員から、パトロールや防犯カメラの状況について質問が出され、交番所長から「防犯カメラでリ

レー捜査が可能になる」との説明がありました。保護司の皆さんからは、対象者を支援していくことの大変さや財政上の課題など保護司活動の現状をお聞きしました。

大変有意義な意見交換ができました。今後の議員活動に活かしていきます。

更生ペンギンのホゴちゃん



総務経済常任委員会-視察

総務経済常任委員会では、1月14日～16日にかけて、神奈川県座間市、神奈川県厚木市および神奈川県横浜市を視察しました。住民サービスの向上と行政内部の業務効率化など今後の自治体運営において大きな示唆をいただきました。



神奈川県座間市議会 LINE公式アカウントで行政サービス

座間市では、行政サービスの利便性向上を目的としてLINE公式アカウントを開設し、各種オンライン手続きや行政情報の発信を行っています。人口約13万1千人に対し、友だち登録数は約10万6千人と非常に多く、主要な情報インフラとして定着していることが伺えます。市民が「いつでも・どこでも」行政手続きを行える環境が整備されており、窓口負担の軽減と職員の業務効率化の両立を実現している点が特徴的でした。



神奈川県厚木市議会 積極的な滞納整理

厚木市では、市税等の収納率向上を重要課題と位置づけ、滞納整理においては「対象者に対しては、調査、処分、停止等を集中的に行い、徴収できない案件は積極的に執行停止を行うなど」の取り組みを行っています。公平性の確保と税負担の適正化の観点から、厳正な対応を行う方針が徹底され、法的措置を適切に遂行することで滞納の長期化を防ぎ、収納率の向上につながっている点が大きな特徴であると感じました。



横浜市民防災センター 市民防災意識向上と行動力強化

横浜市民防災センターでは、地震や火災、風水害などの災害を想定した体験型の防災学習を通じて、市民の防災意識向上と行動力の強化を図っています。今回の視察では、地震体験や火災時の避難行動、災害発生時の初動対応に関する体験学習を行い、災害時に「何をすべきか」「どのように行動するか」を実践的に学ぶ機会となりました。今後の防災施策や防災教育の充実を検討する上で、大いに参考とすべき事例でした。

議会運営委員会活動報告

傍聴のルールを改定しました

議会を円滑に運営するために設置されている議会運営委員会では、議長の諮問事項なども含め日々より町民に身近な議会を目指し議会改革への議論を重ねて活動しています。傍聴のルール改定の内容をご紹介します。



議場内で熱中症予防のための水分補給がOKに！議員はゼロカーボン推進の観点から、マイボトル推奨！



主権者教育の観点から子どもの傍聴もOKに！※進行の妨げになる場合、ご配慮をお願いする可能性もございます。小さいお子さまは無料託児もご利用ください。（1週間前予約制）



一般質問はコロナ禍で短縮していた50分から、答弁込みで60分の質問時間で試験運用中！



傍聴者から議案の内容がわからないとの声があり、傍聴席に閲覧用の議案書を設置！

ぜひ傍聴へ役場4階議場にお越しください

この町に住んで思うこと

「人と人を繋ぐ、伝える、引き継いでいく」

ちさと
白井 千智さん

3年前に下諏訪町から奄美大島へ移住した白井です。現在、マングローブパークでカヌーのガイドをしています。下諏訪町では「人と人を繋ぐ、伝える、引き継いでいく」というコンセプトの元、奄美群島の物産販売をし、多くの皆様に「もずくや黒糖が美味しい」などのご意見を頂き大変喜ばれました。

ただ自分自身の中でもっと奄美大島を知りたいという気持ちが強くなり、これからも下諏訪と奄美が繋がることを約束し、奄美へ移住。移住後、下諏訪町の小松直人さんが奄美へ来島。2023年12月に瀬戸内町のきゅら島交流館で奄美木遣りライブの開催を皮切りに2024年5月に瀬戸内町議会議員の永井しずのさんの島唄ライブを食祭館で開催。翌年の4月には、瀬戸内町の鎌田町長含め三角八丁に出店いたしました。

奄美に移住してから感じるのは、当たり前にあった温泉はなく、雪景色などを見る事ができず羨ましく思います。同町は、お互いにならないものや共通点が多々あり、製糸業と大島紬の生糸繋がりなどあります。今回のきっかけで、色んな方々が交流して行く事を願っています。



下諏訪町から移住し、奄美大島マングローブパークでカヌーのガイドをしています。

議長のつぶやき



卒業された北小学校6年1組の皆さんが、令和7年6月定例会を傍聴して、政治に関心を持ってくれました。3月13日、「下諏訪公園プロジェクト」を通じて自分たちで調べ、わたしたち議員にお願いしたい事として発表してくれました。公園のWi-Fi設置、トイレの清掃、除草などの環境整備をはじめ、さまざまな提案をいただきました。全議員で情報共有をしながら、今後の議会に活用させていただきます。

議長 中山 透

6月定例会日程(予定)

開会	6月	3日(水)
議案質疑	6月	8日(月)
一般質問		9日(火)
		10日(水)
閉会		17日(水)

ぜひ傍聴にお越しください。
日程は変更になる場合があります。
詳細は議会HPをチェック！



SNSはこちらから ご覧ください



Instagram



Facebook